



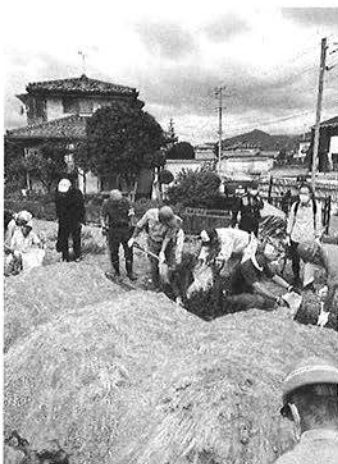
災害に備えて防災・水防訓練を実施

9月29日(日)に古牧自主防災連絡会主催の「防災・水防訓練」が古牧公民館と北八幡川河川協において実施されました。会長、副会長ほか関係役員、古牧12区の各自主防災会の正副区長、防災指導員などが参加しました。

訓練は「午前8時30分長野市を中心に発生したゲリラ豪雨・線状降水帯の影響で、北八幡川や南八幡川が越水氾濫しそうであり、古牧地区内でも大きな被害の発生が予想される」という想定で行われました。

8時30分に訓練が開始され、あらかじめ定められている「災害時の活動要領」に基づき、会長ほか副会長、関係役員の10名が古牧公民館に参集し「災害対策本部」を設置する訓練を実施しました。

また、各区自主防災会との連携を図るための「情報伝達訓練」も行いました。今年度、防災資機材整備で各区の公民館に無線固定局が整備され、その無線機を使用して交信訓練を行い、それぞれ各区の災害対策本部から本部の設置状況や被害状況、要支援者の避難状況などが古牧災害対策本部へ報告が行われました。



土のう作り・積み方訓練

その後、各12区の区長、副区長、防災指導員など約42名が北八幡川河川協へ参集し、長野市消防局の東部分署職員から指導を受け、土のう作りと積み方を学びました。参加者はスコップで袋に砂を詰め、一生懸命訓練に取り組み汗



浄水器の使用訓練

を流していました。

今年度は、プールや河川などからきれいな水を作る「浄水器の使用訓練」や日赤奉仕団によ



日赤奉仕団炊出し

る「炊出し訓練」も初めて行われました。浄水器は市危機管理防災課の職員から使用方法などの講習を受けました。古牧小学校敷地に設置されている「防災備蓄倉庫」に保存食料や生活物品等と一緒に収納されているということで、倉庫内の見学も併せて実施しました。皆さん初めて見る機器等に興味津々でした。

炊出し訓練は、公民館駐車場で日赤奉仕団がガスや釜を準備して「炊き出しおにぎり」を作り、訓練終了後に参加者全員に配布しました。

総勢54名が参加し約3時間30分の訓練でしたが、参加者は真剣に取り組み全国各地で災害が発生していることを思いながら「災害がなく日々安心安全で暮らせる地区でありますよう」と、おにぎりをほおばりながら願うばかりです。
(総務部)

～地域福祉フェスタ～

古牧地区地域福祉大会を開催

9月7日（土）午前9時から古牧公民館を会場に「古牧地区地域福祉大会」が開催されました。昨年と同様に館内の全ての部屋を利用し、2階の集会室では開会式に続き講演会「知ろう認知症のこと」をテーマに長野市地域包括支援センターニチイケア高田の看護師を講師に講演があり、約60名の方が参加し熱



心に聴講されました。参加者の認知症に対する関心度の高さを感じさせられました。

昨年も好評でありました清泉女学院大学の山崎浩先生を講師にお招きして音楽講座を実施し約40名の方が、先生のピアノ演奏と興味深い講話に聞き入り、参加者全員の笑顔が印象的でありました。

和室では、明治安田生命による血管年齢の測定及び野菜摂取量チェック測定が実施され、測定された参加者の一喜一憂する姿が印象的でありました。また、シューマートによ



る測定では、参加者が足型と足圧を測定してもらい結果を再認識しておりました。

学習室では、みかん行政書士事務所のお二人の行政書士をお招きして「相続」に関する講演があり、約20名の参加者は真剣に聴講し講演時間が30分程超過した講座となりました。

調理室では、福祉健康部主催の男性の珈琲教室の受講者と珈琲ボランティア「ボラボラの会」が、来場された皆さんに煎りたてのコーヒーを提供し120名近い参加者が講座などの合間の一休みにコーヒーを飲んでいました。香りがよく美味しい珈琲と好評でした。

今回の地域福祉大会には、残暑厳しい中、約160名の方に参加いただき盛況な大会になりました。古牧地区の皆様のご協力に感謝申し上げます。（福祉健康部）

事故防止を願い交通安全住民集会を開催

9月11日（水）に東和田交差点にて例年通りに交通安全住民集会を開催しました。住民自治協議会役員、長野市地域活動支援課、長野中央警察署、和田交番、交通安全協会古牧支部、東和田区、西和田区、平林区、荒屋区の役員の皆さん、三陽中学校の生徒さんが参加しました。

早朝の開催にも関わらず登校前の三陽中学校の生徒約80名に参加協力をしていただき生徒の皆さんの交通安全に対する意識の高さを感じられる集会になりました。

この集会は、毎年9月に交通量の多い東和田交差点、西尾張部交差点、上高田交差点の3か所で古牧地区内の交通安全を願い順次開催されております。

集会では、関係者のあいさつの後、参加者

が街頭でのぼり旗等を持ち、通勤などで行き交う車、自転車利用者などに交通安全を呼びかけました。

今年は、現在まで古牧地区での死亡事故は0件とのことで、年間を通して毎月第1水曜日に行っている西尾張部交差点での交通安全啓発活動など地道な活動が事故防止につながっていると思っております。（交通安全部）



白熱！大盛況の少年少女スポーツ交流会

9月8日（日）第52回少年少女スポーツ交流会が古牧小学校で開催され「野球大会」、「信州ブレイブウォリアーズバスケットアカデミー」が行われました。

グラウンドで行われました「野球大会」は3チームによるリーグ戦で対決しました。

開会式では、古牧キッズの主将の素晴らしい選手宣誓から始まり、どのチームも最後まで全力プレーで諦めずに戦う姿に心奪われました。

試合の結果

優勝	緑ヶ丘少年野球部
2位	古牧キッズ
3位	南部上高田少年野球



体育館では、「信州ブレイブウォリアーズバスケットアカデミー」が開かれ80名の子も達が参加しました。特別講師に信州ブレイブウォリアーズの元選手の佐藤託矢さんをお迎えし、ドリブルやシュートの基礎、最後はミニゲームも行い、子どもたちは交流を深めながら大盛り上がりで楽しんでいる姿が印象的でした。参加した子ども達は、「本当に楽しかった！」との声が多くとても充実した様子でした。

2つの企画ともにスポーツを通じてたくさんの笑顔と感動が詰まった一日となりました。

（青少年育成部）

全戦没者追悼と非戦の誓いを開催

9月27日（金）に南高田の「西光寺」で古牧地区住民自治協議会、古牧地区遺族会、古牧地区仏教会の主催による「古牧地区全戦没者追悼と非戦の誓い」が開かれました。戦争に関わった全ての人々の慰霊と世界の恒久平和をお祈りし、西光寺本堂で古牧地区仏教会の皆さんによる読経をいただき、古牧地区遺族会の皆さんはじめ多くの方にご参拝をいただきました。

（総務部）



歴史探索

ぐるりおがまち

南高田区

にとはちさま（義民助弥）亡史蹟

古牧郷土史研究会 西脇 広明

延宝元年（1673）まで松代藩の租税は、粃一俵につき玄米三斗とされ百姓にとって耐えがたい過酷なものだった。領内村々の肝煎等が藩に対して玄米二斗八升に減らすよう何度も嘆願したが採択されなかった。仕方なく百姓たちは幕府に直訴する決議をしたが、直訴

の筆頭者は容易に決まらなかった。そんな時、下高田村（南高田）の助弥等が直訴を決行し成功させた。幕府は藩に考慮を命じたが越訴の罪は重く関係者は投獄、首謀者助弥は死罪となった。助弥は鳥打峠の刑場で死を前

次頁へつづく

前頁のつづき

に監視の藩吏を顧みて「二斗八だぞ」と叫んで刑に服したと伝えられている。

現在、助弥誕生の地には昭和12年（1937）に建てた「義民助弥誕生地」の石碑がある。またこれより西側にある毘沙門堂（旧南高田公会堂）境内には大正14年（1925）に「義民



義民助弥乃祠

助弥乃祠」が建立されている。

南高田伊勢社境内の本殿南側に「天神社（二斗八升神社）」があり、菅公の天神様を祀るとともに二斗八（助弥）様をあわせて祀ってあると言い伝えられている。

平成14年古牧地区市政100周年記念事業児童劇『義民助弥物語「にとはちさま」』が古牧小で公演され、今も、古牧・緑ヶ丘・南部各小学校持ち回りで公演を継続している。



天神社（二斗八升神社）

参照『みんなの蝉の唄 南高田歳時記』

『南高田伝統文化誌』

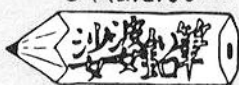
（注）肝煎（きもいり）

：名主の古い呼び名

直訴（じきそ）・越訴（おっそ）

：正規の手続きによらず直接お上に訴えること

しゃばえんびつ



家庭菜園

私は定年した後、趣味というものを持っていないため時間を持て余していました。どうしたものかと思案し手入れのしていない庭の草むしりをしていたところ、庭の手入れと同時に花や野菜などを栽培できればと思い立ちました。

近くのホームセンターで花や野菜の苗を購入して、早速、何も考えずに庭に植えました。

まったく知識がないのに適当に作業を行い、水やりだけはかかさず行いました。成長が遅いので肥料が足りないのかと、また何も考えず目についた鶏糞をまき様子をみようとしたところ、肥料の臭いがすごく近所迷惑になると思い、すぐさまとりやめ普通の肥料に切り替えました。

もっと計画を持ち少なくとも本を読んだりネットで検索するなりしてやれば良いものを、私のせっかちで、ものぐさな性格が災いし、だいぶ無駄にしてみました。それでもいくつかの作物は実をつけ、なるほど分からないなりに何とかなるものと物作りのおもしろさを学びました。子育てと同じで手間暇を掛けて育てることの大切さを学びました。

（北澤 学）

11月から12月までの主な行事実施日のお知らせは回覧等でお知らせします。



古牧地区の世帯数と人口

令和6年10月1日現在

11,899 世帯

26,095 人

（男 12,930人 女 13,165人）

■発行所 古牧地区住民自治協議会
（電話259-8359・FAX219-1057）
（E-mail: komaki@vivid.ocn.ne.jp）

■発行者 西澤 征防
■編集 ぷらネットこまき編集委員会
■印刷 ㈲小池印刷



HP
ご覧ください